

学生戦線

IV/81

社会主義学生同盟

大阪市大文部発行

本誌1時 2.4 沖繩也米スト 韓教養スト

全大の学友諸君。

七〇年安保斗争の焦点、全アジア的階級危機を背景とした沖繩斗争は安保粉砕
 一曰米帝日主義打倒斗争として三つ以外に勝利的展望は切り拓かれぬまい。日
 本帝日主義の七〇年に向けての対外擴張政策は軍事力とその要として強化され
 全人民をそれへの統合、再編入と突き進んでいく。現実に沖繩の斗争は、シ烈に
 なる階級関係の中で、Bの撤去要求、そして更には世界的な本土に於ける革命的
 な斗争に好応して昂揚しつつある若くは学生層の戦いに対してアメリカ帝日主義者
 は今回の統合方針布令にみられるように沖繩人民の戦いを高圧的な法制的規制に
 よって徹底的に抑圧しようとしている。この米軍政のより一層の沖繩基地強化は
 ベトナム人民の英雄的な斗争によってアジア支配の一角を切り崩されようとして
 いる米帝は、昨年のエスロ号事件、韓日対立斗争、露露など、急激に緊迫化
 しつつある朝鮮半島をそのベトナムとして敗北への道を歩まないように常時統
 制体制にせんとするものである。そしてこれに対して日本帝日主義者は、敢に
 自らの経済支配圏として確立した韓国、台湾の革命斗争を潰滅させ、人民を全社
 会的に収奪せんとするために、沖繩の祖國復帰と侵略前線基地化をなすに及んでも
 確立せねばならぬのである。この日本帝日主義者の基地強化一常時非常事態化
 化七〇年代の沖繩の姿をどうつとせよ。否、それは沖繩のみならず、日本全土
 、全アジア革命反革命の人民と支配者との斗争の展開をいかにせよのた。
 之の最前線に現存の沖繩人民は立、之あり、日米反革命同盟一多保の契機である米
 軍基地、米軍政に対する実力斗争として、2、4全島セネストも存在するのた。

この沖繩人民の斗争は、従来の敢て左翼による之指トされた祖國復帰運動の様を
 之の斗争の質によつて突破しようものである。即ち、斗争は祖國復帰という天上の
 向星と軸にしてこの斗争は、具体的には安保契機一Bの、核基地或いは若竹布令
 一を焦点にしており、それは安保と粉砕しなれば限り基地沖繩口変化しなればならぬ
 故つ。そして安保を粉砕し、沖繩人民自らを解放する斗争は、日米帝日主義者と日
 米反革命同盟に収奪せられいる全土の被支配者の皆が共闘して進んでいくべき事、即ち、祖國復帰の反米反日主義を築き、スロレンリアーイナクナ
 ナリズムへの進展を内に予んていく。

我々は、この新なる軸を持つ、に沖繩人民の斗争に呼応し、そして、七〇年安保斗争
 日帝をして海外侵略に乗り出さしめ、その実質は自衛隊の増強にある。即ち
 七〇年安保斗争とは、自衛隊解体と沖繩基地撤去斗争である事を知らず、2、4
 を、安保粉砕ストライキとしての斗争はならない。この斗争一安保ストの強化の上
 に、三自自衛隊増強粉砕斗争を、4、26、28沖繩斗争と、日、米、沖繩をロシア
 リアの共同斗争として、具体的には日米反革命同盟粉砕の斗争を展開せねばならぬ
 。

全この学友は、学生大会に積極的、2、4教育ストを要せよ。
 大学方面は、沖繩人民の、Bの撤去、統合方針の斗争を支持し、2、4
 全土休講、武蔵王廟の連帯せよ。